

小学部1年 音楽 学習指導案

大阪府立和泉支援学校

T1 林 沙織
T2 柳瀬 由佳
T3 小滝 智恵美
T4 浅野 泰成
T5 中井 亜妃子

1. 日時 令和6年9月17日(火) 第5時限(13:20~13:50)
2. 場所 第1学年5組教室
3. 学部・学年・グループ 小学部 第1学年 1組5組 計11名
4. 単元(題材)名 「音楽であそぼう！」
5. 単元(題材)目標
 - ・音や音楽に関心を持ち、気付くことができる。(知・技)
 - ・関心や興味をもって聴くことができるようになる。(思・判・表)
 - ・音楽あそびを通して、教員や友だちと一緒に表現することを楽しもうとする態度を養う。(学・人)

<和泉支援学校キャリアプランニングマトリックス>

- ・人と 集団参加 1段階 ②大人とのやりとりを通して様々な規模の集団に参加する。

6. 児童観

本グループは、小学部1年生1組と5組の児童で構成されており、障がいの程度は重度から軽度までの幅広い実態がある集団である。入学してから少しずつ学校生活に慣れ、大きな時間の流れ(朝の会、各教科の学習、給食、帰りの会など)がわかり、落ち着いて過ごせることが増えた。また、少しの支援により、学習の基礎である、座って話を聞く、指示に従うなど簡単なルールを守って取り組むことができつつある児童が増えてきた。教科の学習では、慣れない場所や活動に対して不安を示したり、落ち着かなかつたりする児童が多いが、同じ活動に繰り返し取り組むことで見通しをもって取り組めるようになってきた。

活動においては、音や音楽の違いに気づく児童や、音や音楽を感じて楽しむ児童、見本を見たり聴いたりして模倣する児童、自由に声を出したり楽器に触れたり体を動かしたりする児童など、様々の姿が見られる。それぞれの児童が自分なりの方法で意欲的に音楽あそびに取り組んでほしい。

7. 教材観

音楽の授業の組み立てとして、鑑賞、歌唱、器楽、身体表現の4つを柱として取り組んでいる。

鑑賞では、ペープサートや紙芝居、映像などを提示して、音楽や歌詞の様子がイメージしやすいようにしており、本時はペープサートを提示する。買い物かごを持っているありのペープサートを「こっつん

こ」のタイミングでぶつけ合って歌詞のおもしろさを表現している。

歌唱では、耳馴染みがあり、繰り返しのフレーズの多い曲を選曲した。また、教員の後から続いて歌うことから、声を出しにくい児童もタイミングを合わせやすくなるのではないかと考えた。

器楽では、手のひらで面をたたくというという簡単な動作で、どの発達段階の児童でも音を出しやすいということからバケツ太鼓を選定した。太鼓の音だけでなく、手に伝わってくる振動からも音を感じることができ、音を出す楽しみや期待感を感じてほしい。

身体表現では、歩くという単純な動きではあるが、音楽に合わせて自由に歩く中で、集団の中で教員や友だちと一緒に活動する経験を積めるようにしている。また、「音楽が終わったらおしまい」のルールがわかりやすく、他教科の活動にも繋がっている。

8. 指導観

あいさつをする前には、はじまりの歌の音源を流し、音楽の授業が始まる期待感をもたせられるようにし、自然と着席し、前に注目できるようにしている。鑑賞では、事前に「静かに聴く」の約束を伝え、ペーパースートに注目できるようにしている。歌唱では、声を出しやすいように手でマイクを作り、声を出すタイミングを視覚的にもわかりやすいように伝えている。器楽では、リズムを感じてたたきただけでなく、両手や片手でたたいたり、大きく振りかぶってたたいたり、速くたたいたりいろいろなたたき方で出た音を楽しんでほしい。身体表現では、教員も楽しい雰囲気と一緒にいき、教員や友だちと楽しく取り組めるように心がけている。

小学部段階の音楽の指導では、上記の鑑賞、歌唱、器楽、身体表現の4つの活動をいつも同じ順番で行っている。また、予定カードで『きく』『うたう』『がっき』『あるく』と、何をするのかわかりやすい言葉とイラストで伝えている。そのため、扱う曲が変わっても見通しをもって取り組みやすい。内容が変わっても活動の流れは変わらないから大丈夫という安心感をもって、音や音楽に気付き、楽しんでほしい。

9. 単元（題材）の評価規準

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
① 興味をもって聴こうとしている。	① 音楽を聴いたり、感じたりして、表情や体、声で表現しようとしている。	① 教員や友だちと一緒に体を動かすことを楽しもうとしている。
② 音や音楽を感じて、体を動かしたり、声を出そうとしたりしている。	② 音楽を感じて、自分なりに楽器の音を出したり体を動かそうとしたりしている。	
③ 楽器に興味をもち、音を出そうとしている。		
④ 音楽を聴いたり手本を見たりして、体を動かそうとしている。		

10. 単元（題材）の指導と評価の計画（全5時間、本時は第4時）

次	時	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
1	1	・鑑賞『おつかいありさん』 ・歌唱『アイアイ』 ・器楽『おおきなたいこ』 ・身体表現『公園にいきましよう』	・音楽を聴く。 ・手のマイクに向かって声を出す。 ・太鼓をたたく。 ・音楽が流れている間自由に歩く。	・場を落ち着け、聴く環境を作る。 ・一人ずつ順に発声を促す。 ・自由にたたく時間を設定する。 ・楽しく歩く雰囲気づくりをする。	・A①②③④ (行動観察)
2	2 3	・鑑賞『おつかいありさん』 ・歌唱『アイアイ』 ・器楽『おおきなたいこ』 ・身体表現『公園にいきましよう』	・ペープサートを見ながら聴く。 ・手のマイクに向かって声を出す。 ・いろいろなたたき方で太鼓をたたく。 ・腕を大きく振って歩く。	・歌詞に合わせてペープサートを動かす。 ・一人ずつ順に発声を促す。 ・いろいろなたたき方を提示する。 ・見本を示す。	・A①②③④ (行動観察)
3	4 5	・鑑賞『おつかいありさん』 ・歌唱『アイアイ』 ・器楽『おおきなたいこ』 ・身体表現『公園にいきましよう』	・歌詞をイメージしながら聴く。 ・音楽に合わせたタイミングで声を出す。 ・音楽を感じて好きなたたき方で太鼓をたたく。 ・最後のところで好きなポーズをする。	・ペープサートに注目を促す。 ・手のマイクで、声を出すタイミングを促す。 ・音楽を聴いてたたくように促す。 ・事前にどんなポーズがあるか考えるように促す。	・B①② ・C① (行動観察)

11. 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・ペープサートを見て音楽を聴いたり、音楽に感じて声を出したり、バケツ太鼓をたたいたりする。
- ・教員や友だちと一緒に歩いたり、ポーズをとったりする。

(2) 本時の評価規準

- ・ペープサートを見て音楽を聴いたり、音楽を感じて声を出したり、バケツ太鼓をたたいたりしようとする。B①②

・教員や友だちと一緒に歩いたり、ポーズをとったりしている。C①

(3) 本時で扱う教材・教具

・予定カード ・顔写真 ・CDデッキ、CD ・ペープサート ・バケツ太鼓

(4) 児童の実態と本時の目標

※省略※

(5) 本時の学習過程

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援の手だて等	評価規準（評価方法）
3分 導 入	1. はじまりの歌 『さあみんなて』 2. あいさつ 予定の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・児童椅子を持って、教室に集合する。 ・座席等を配慮し、環境を整える。 ・事前に音源を流し、『音楽』が始まることを意識できるようにする。 ・明るい雰囲気ですぐ歌い、授業に興味をもって向かえるようにする。 ・主担に注目するように促す。 ・予定カードを提示し、見通しがもてるようにする。 	B①（行動観察）
25分 展 開	3. 鑑賞 『おつかいありさん』 4. 歌唱 『アイアイ』 5. 器楽 『おおきなたいこ』 (バケツ太鼓)	<ul style="list-style-type: none"> ・『静かに聴く』をがんばるポイントとして伝える。 ・ペープサートを提示し、興味をもって聴いたり、曲の内容をイメージしやすいようにしたりする。 ・手のマイクで促したり、を教員と一緒に歌ったりして発声しやすくする。 ・声が出にくい児童は、「あ」の口形を模倣したり、身振りで表現したりするよう促す。 ・歌う順番を事前に伝える。 ・2～3人ずつ行う。順番を顔写真で提示する。 ・鳴らし方の見本をわかりやすく伝える。 	<p>B①②（行動観察）</p> <p>B①②（行動観察）</p> <p>B①②（行動観察）</p>

	<p>6. 身体表現 『公園にいきましょう』</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・『大きく腕を振る』『ポーズ』をがんばるポイントとして伝える。 ・教員も一緒に歩き、楽しい雰囲気づくりをする。(ST) 	<p>C① (行動観察)</p>
<p>2分 ま と め</p>	<p>7. あいさつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・場を整えてからあいさつをする。 ・クラスの帰りの会で振り返りをするように伝える。 	

(6) 教室配置等 (正面を上にして、児童生徒や教員の位置、教材・教具の配置等を示す)

